

高木復興大臣宮城県ぶら下がり会見録

(平成27年11月24日(火) 17:25～17:27 於) 南三陸町役場)

1. 発言要旨

今日、南三陸町を訪問させていただきました。言うまでもなく南三陸町は大変大きな重大な被害を受けた地域で、本当に4年8か月間大変な御苦勞をいただいていたと思いますけれども、今日は高台移転、あるいはまた区画整理、そしてまた学校の話も聞かせていただきましたし、病院もいよいよ明日落成というような運びでございまして、本当に多くの御努力をいただいて、着実に復興が進んでいるという実感を持たせていただきました。

ただ、言うまでもなく、まだ復興道半ばでございまして、これからも私どもとして町に寄り添いながら復興の御支援をしていきたいと、そういう思いを持って今日は南三陸町の町長さんともお話をさせていただいたということでございます。

2. 質疑応答

(問) 今日、町長のほうから国勢調査の結果による人口減少による地方交付税の減額の懸念が示されました。復興庁としても総務省に協力をとるという要請がありました。この問題について大臣はどのように思っていますか。そして、どう対応されるか教えてください。

(答) かねてよりそういう問題があるということは認識もいたしておりました。さらに、今日町長さんからそういう話をいただきましたので、しっかりと総務省にそういう被災地の状況というものを伝えて対応するように強く要望したいというふうに思っております。

(問) 特に大きな問題ですから関心も高いと思いますが、どうでしょう、大臣、実効といいますか、どこまで効果は期待できそうでしょうか。

(答) それはもう総務省に私のほうから強く要望させていただくということでございます。

(以 上)